

脳死ドナーからの膵島移植の実施報告

日本膵・膵島移植研究会では、「重症低血糖発作を合併するインスリン依存性糖尿病に対する脳死又は心停止ドナーからの膵島移植」を先進医療Bの承認のもとに、臨床試験として実施しているところではありますが、このたび平成25年10月13日に、脳死下に提供を受けた膵臓から分離した膵島を用いまして、膵島移植が実施されましたことをご報告申し上げます。

膵島移植はこれまで、心停止下提供膵を用いて実施されてきたものの、平成19年に膵島分離用酵素の問題で一旦停止しておりました。その後皆様のご協力のもと体制が再整備され、平成24年6月にその実施の停止を解除し、また平成25年4月からは脳死下提供膵を用いた膵島移植も正式に実施可能となっております。

今回の移植実施は、一時停止以降の再開第一例目で、新しい免疫抑制プロトコールのもと実施された症例であるだけでなく、本邦での脳死下提供膵島移植の第一例目となります。脳死提供からも膵島移植が実施できることで、ドナー膵の有効な利用によりドナーおよびドナー家族の意思に報いることが可能となるだけでなく、膵島移植の臨床成績の向上にも寄与することが期待されております。

膵島移植の実施におきましては、関係する皆様より多大なご協力、ご支援をいただきましたことをあらためて深く感謝申し上げます。

引き続きご支援、ご指導いただければ幸いです。

今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

平成25年10月18日

日本膵・膵島移植研究会 会長
後藤 満一